

InterFM897

The 243rd Programming Deliberation Committee

第 243 回番組審議会 議事録

開催日 2020 年 10 月 20 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、西田善太委員、安藤美冬委員、吉田拓巳委員

1、

議題（審議番組）：music is music

放送日時：毎週日曜 23:00 - 23:30

DJs：マスヤマコム、牧村憲一、美島豊明

会社からの説明

竹内まりや、大貫妙子、フリッパーズ・ギターなどの制作・宣伝を手がけ、ノン・スタンダードやトラットリアなど数々のレーベルにかかわった音楽プロデューサー、牧村憲一が「日本のシティポップ」をテーマに、それがどこから生まれ、どう育ってきたのか？ミュージシャンを中心とするゲストとともに、掘り下げて語ります。

聞き手は、コンテンツPのマスヤマコム。サウンドロゴは、Corneliusのプログラマ美島豊明。

委員からの意見・感想

審議委員 A

DJ の声のトーンか話し方なのか、少し聞きづらく感じた。テーマ性があるのは良いが、オールドスタイルな見せ方が若い世代には少し渋く、とっつきにくいように思う。ただ、個人的には、音楽史が知れてとても勉強になる番組だった。今、10 代をはじめ若い世代には Podcast が流行っているので、そういった展開があると、より価値が高まるのではないだろうか。

審議委員 B

DJ の個性が欠けていて勿体ない。また、番組を通して、印象に残る部分がまったくなかった。通好みだと感じるが、素人にもわかりやすく、インパクトのあるエピソードがほしい。選曲はどれもカッコよくとても良かった。

審議委員 C

尺を意識してかトークをカットしすぎている印象で、断片的でバラバラ、山が無い。わかっている風に話が進んでいて、大事な説明も省いてしまっているようでもったいない。DJ の語りは朴訥だが、音楽史・音楽業に関する数々の知見を持ち、非常に面白いストーリーを持つ人物なので、彼を一年間フィーチャーして、周りの人間の証言を得ながら、その中で音楽を自然と知っていく形がいいのではないかと。牧村さん 1 人で進行する 1 時間番組にしたほうが良いように思う。

審議委員 D

テンポがいい割に、核心には行きつかないような、中途半端な印象。音楽に精通している人もよくわからなかったのではないかと。DJ は良い味が出ているので、制作者は、もっと DJ を立たせるような工夫をしたり、トークにひっきりや聞き所をつくる努力をしたほうがよい。トークテーマの目の付け所は良く、おそらく 30 分では語りきれない部分があると思うので、オーディオブックを作るなど付帯展開もしていくとよいのではないかと。

審議委員 E

音楽玄人には「なるほどね」と頷けるトークが多く、面白かった。音楽の歴史を知る教科書のような番組。選曲も面白く、30 分のうちに 7 曲もかかることは良いことだが、その分トークが薄くなっている気がする。もっと話を深く掘り下げてほしかった。若者にはわかりにくい番組だが、若者にも「知らなかった!」「なるほど」という気づきを与えられるような番組になってほしい。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上